

2026年度

入学者のしおり



学校法人 山本学園

緑誠蘭高等学校

目 次

1	理事長挨拶	1
2	学校長挨拶	1
3	目指すべき学校像（スクールミッション）	2
4	三つの方針（スクールポリシー）	2
5	初登校までの流れ	5
6	学習活動	
	（1）教育課程の編成	7
	（2）教育課程	10
	（3）卒業要件	12
	（4）期と履修期間	12
	（5）日課表	13
	（6）履修と単位修得	13
	（7）特別活動	18
7	学校生活	
	（1）基本方針	19
	（2）生徒心得	19
	（3）休学・復学・退学・除籍	19
	（4）生徒指導規定	20
	（5）警報発表等	21
	（6）法定伝染病罹患時の対応	23
	（7）科目別履修課程	25
	（8）保護者へのお願い	25
	（9）タブレットPC及びインターネット利用環境のご用意のお願い	26
8	その他	
	（1）学費について	27
	（2）生徒証について	27
	（3）健康診断について	28
	（4）電車・バスの定期券、回数券の購入について	28
	（5）日本スポーツ振興センター災害共済給付について	28
	（6）緑誠蘭高等学校「育友会」について	29
	（7）授業目的公衆送信補償金について	29
	（8）カウンセリングについて	29
	（9）サテライト塩尻校について	29

1 理事長挨拶

新入生の皆さん、学校法人山本学園 緑誠蘭高等学校にようこそ。希望に胸ふくらませ、本校を選んでくれた皆さんを心から歓迎します。

本校は通信制であり、自分のペースで学習を進めていくことができます。また、愛知県にて70年の伝統と実績のある学校法人が運営していて、そのノウハウを活かし、教職員一同、皆さんをしっかりサポートしますので安心して学校生活を送ってください。

本校が目指すゴールは高等学校卒業に留まらず、これからの時代や新しい社会で生き抜くことができる人材の輩出です。そのため、学びの多様性（ダイバーシティ）を根底に普通教科のみならず信州学やアウトドア、専門教育（調理・製菓【スイーツ】・プログラミング・コンピュータグラフィック、ビジネス関連）などの様々な体験を通して実学に結び付けていく学習環境を用意しています。ゆっくりでいいので一步一步高みを目指してみてください。

皆さんが、これから多くの仲間とかけがえのない時間を過ごし、様々な経験から一回りも二回りも人間的に大きくなっていくことを期待します。

学校法人山本学園 理事長 山本 直明

2 学校長挨拶

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。皆さんの入学を心待ちにしていたので、今日のこの日を大変うれしく思います。これから始まる高校生活への希望があり、そして時に不安に感じられることもあるかもしれませんが、その状態が長く続くわけではありません。皆さんは決して一人ではなく、周りにはたくさんの支えがあります。いつも傍で見守ってくださっている保護者の方、これから出会う新しい友達や、頼もしい先輩、そして成長を共に願う先生方、多くの人の支えがあります。緑誠蘭高校での生活では、ぜひ新しいつながりをつくってください。私の願いは、皆さんがこの学校で自分の良さに気づき、歩み続けていってくれることです。その実現のために学習面では、全生徒に学んで欲しいコンピュータ科目、学び直しをする基礎教養科目、調理や物作りに関する科目、体験的活動を取り入れた科目、分かる普通科目を豊富に用意して学びの環境を整えています。皆さんの「分かった」「できた」を実感できるよう努めてまいります。また、三者懇談や進路相談、レポート課題への取り組み相談も充実させます。どうぞ皆さん、安心してこの学校へ通ってください。私たちは皆さんを支えていきます。

緑誠蘭高等学校 校長 宮田 安弘

3 目指すべき学校像（スクールミッション）

緑誠蘭高等学校は、中学校教育の基礎の上に、広域通信制（長野県・岐阜県・愛知県・三重県）による高等学校教育を行い、自然豊かな環境の中で信州学を学ぶことを通して、誠実で豊かな情操をもち、自主自立できる人を育てることを目的とします。

また、緑誠蘭高等学校の母体である山本学園の建学の精神（校訓）「誠の道」を踏襲し、開学後半世紀以上にわたり培ってきた教育の成果と、多くの生徒が自主自立を果たしてきた実績を生かし、社会で生き抜く力をもつ生徒を育みます。



「誠の道」

- 一、平素から勉学に努め、授業中は静粛を旨とする。
- 一、長上を敬い、素直に教えに従う。
- 一、学友には、親切を第一とする。
- 一、心正しく、言葉美しく、身なりは清潔にする。
- 一、骨みを惜しまず、親に感謝する。

4 三つの方針（スクールポリシー）

育成を目指す資質・能力に関する方針（グラデュエーション・ポリシー）

自然豊かな環境の中で信州学を学ぶことを通して、誠実で豊かな情操をもち、自主自立できる人を育てます。

1 身に付けてほしい力

- ・ 当たり前のことは当たり前に行う力
- ・ 人を理解し、誰とでも関わることができるコミュニケーション力
- ・ 幅広い基礎学力と専門知識を基にした課題解決力
- ・ 他者を尊敬し、協働できる道德心
- ・ 前に踏み出す力、考え抜く力、チームで働く力などの社会人基礎力、社会参画力
- ・ 豊かな自然環境に触れることで育まれる、自然を愛する心
- ・ アウトドア活動や防災技術を身に付け、自然災害が起きても生き抜く力
- ・ 伝統技能体験や多様な文化財を通して信州学を学び、それらを大切にできる心

2 育って欲しい姿

- ・ 自ら判断し、社会を生き抜くことのできる人
- ・ 誰とでも分け隔てなく協働できる人
- ・ 専門知識の基礎を学び、より専門性の高い職業に就くことができる人
- ・ 伝統産業や歴史的建造物等、故里の文化を理解できる人
- ・ 自然を愛し、自然とともに生活できる人

教育課程編成・実施方針（カリキュラム・ポリシー）

生徒の多様性を尊重し、個々に合った教育課程を編成するとともに、キャリア教育を実践します。基礎学力の定着を重視し、小中学校の学び直しから始め、就職・進学へつながる学習指導を行います。また、単位制を採用し、高等学校（前籍校を含め）に3年以上在籍することにより、生徒の成長に応じた卒業を目指します。

1 教育内容・編成

- ・生徒の多様性を尊重し、場所を選ばず学習できる環境を提供します。
- ・登校を重視する生徒には、登校して学習できる環境を提供します。
- ・義務教育段階の基礎学習を学び直す科目を設け、苦手教科を克服する機会を設けます。
- ・「各学科に共通する各教科・科目」は、高等学校基礎学力程度にとどめ、学習意欲が損なわない教育課程を編成します。
- ・自然豊かな環境の中で、伸び伸びと学習できるよう配慮した科目を設けます。
- ・キャリア教育につながる専門基礎科目を設け、将来を見据えた知識・技能を身につけ、「自立自立できる人を育てる」教育課程を編成します。
- ・「各学科に共通する各教科・科目」以外に、本校独自の多彩な科目を設け、生徒の学習意欲の向上を図ります。
- ・探究学習に重点を置き、多彩なテーマを設定して、探究心を高める教育課程を編成します。

2 教育方法・実施

- ・登校学習、家庭学習、面接指導施設をまたいだ学習など、生徒が学習スタイルを選択できます。
- ・面接指導では授業を実施し、法定面接指導回数以上の面接指導を行うことで、登校意欲を向上・維持を図ります。
- ・各校舎および学習等指導施設はオンラインで結ばれ、リアルタイムで同一授業を受講できます。授業は録画し、後日オンデマンドで配信を行うため、家庭学習者や未受講者も学習・復習が可能です。
- ・登校を重視する生徒は、週1～3日程度の登校に加え、自習室を利用して学習サポートを受けることができます。
- ・主要5教科において、小中学校の学び直しを重視した科目「基礎教養」を設け、高等学校の学習に入る前に履修・修得することで、学習への自信を育てます。
- ・「信州学伝統工芸」・「ブッシュクラフト」科目を設け、自然豊かな長野県で実習を中心とした学習を行います。
- ・有資格者によるコンピュータ、調理・スイーツの専門科目を設け、次の進路につながる学習を行います。
- ・生徒の多様性を尊重し、学習意欲を高める「学校設定科目」を多く設けます。

- ・探究学習では、「やってみよう」「解決してみよう」を実践できるよう、各期で異なるテーマに取り組みます。
- ・特別活動では、帰属意識を高めるとともに、多様な文化、生活の体験や進路選択の一助になる体験型学習を行います。併せて、防犯・防災・成人教育等にも取り組みます。

生徒募集方針（アドミッション・ポリシー）

基礎学力の不足や生活習慣の不安定さを理由に入学をためらう必要はありません。本校では、自学自習しようとする意欲と学習への向上心を持ち、継続的な努力を惜しまない生徒を歓迎します。また、社会規範を守り、他者との関わりを大切にできる生徒を歓迎します。

歓迎する生徒像

- ・毎日登校することに不安はあるが、学習意欲のある人
- ・登校学習は難しいが、家庭で学びたい人
- ・学力に自信はないが、学習努力を惜しまない人
- ・前籍校を退学したが、高等学校の卒業を目指したい人
- ・働きながら学びたい人
- ・専門的な科目を中心に学習をしたい人
- ・自然豊かな環境で学び、異文化に触れたい人
- ・社会規範を遵守できる人



5 初登校までの流れ

(1) 合格通知受理



(2) 入学金の納入

指定された期日までに、指定の口座に入学金（50,000 円）を納入してください。



(3) 受講申請

- ・対象：入学予定者並びに保護者
- ・場所：各所属校 ※各サテライト校へお越しの際は、公共交通機関またはお車の場合、公共の駐車場をご利用ください。

内容	持ち物
単位制及び通信制の学校のしくみ 学校生活について	上履きまたはスリッパ（蘭本校のみ） 誓約書・筆記用具
生徒証の写真撮影	お渡しする物
受講申請・三者面談	自主学習書

※生徒証の写真を撮影しますので、私服着用（前籍校の制服では撮影できません）。

華美な服装・頭髮・化粧は控えてください（撮り直しをする場合があります）。



(4) 学費等納入

指定された期日までに、指定の口座に学費等を納入してください。



(5) 入学セレモニー及びガイダンス

2026年4月入学生 4月8日（水） 13:00～ 各所属校にて
※年度途中転編入学者につきましては、別途各月「入学生ガイダンス」を行います。

・場所：各所属校

内容	持ち物
入学セレモニー 担任、科目担当者紹介 学習の仕方の説明 生徒証、教材配布	生徒個人票、住民票の写し 通学定期乗車券等について（希望者のみ） 上履きまたはスリッパ（蘭本校のみ） 【蘭本校・塩尻校・中津川校】 ゆうちょ銀行自動払込利用申込書（お客様控）のコピー 【知立校】 岡崎信用金庫預金口座振替払いに関する届出書（複写2枚目）

※通学定期券等が必要な生徒には、通学証明書を発行しますので、最寄りの定期券等発行駅にて購入してください。（通学証明書は発行までに時間がかかる場合があります。）

(6) 合格された中学生の皆さんへ

高等学校は義務教育とは違います。中学校では各科目の成績が評定「1」でも進級や卒業ができました。高等学校では科目の成績で評定「1」をとると、その科目が単位不認定となります。原則、卒業するためには再度履修する必要があります。高等学校生活が始まってから頑張るのではなく、合格をされた今から高等学校生活が順調に送れるように準備しましょう。

高等学校生活が始まるまでに以下の点について努力しましょう。

- ア 高等学校の各科目は、中学校の学習を十分に理解しているのを前提として開設しています。高等学校生活が始まるまでに苦手だった科目を少しでも克服するよう自主学習書等で中学校の復習をしてください。
- イ 昼夜逆転など生活習慣が不規則な場合には、規則正しい生活が送れるように時間を守る生活を送ってください。

緑誠蘭高等学校では、基礎教養（国語、数学、英語、理科、社会）という、自主学習書等の復習だけでは不安な生徒向けに基礎学力を身に付けることができる科目があり、分からないところがあればいつでも先生が学習サポートを行いますので安心して入学してください。また、登校に自信がない生徒は、登校を最低限に抑えたオンライン学習による家庭学習からも始められますので安心してください。

合格された中学生の皆さん、入学するまでは様々な不安があることでしょう。

今必要なのは夢と希望とやる気を持って入学することです。

そして、緑誠蘭高等学校で新しい高校生活をエンジョイしましょう！

(7) 転入学・編入学される皆さんへ

通信制・単位制高等学校は、全日制高等学校とは違い、1科目を1年間に渡りじっくりと先生が教えてくれるという学習方法ではありません。家庭における自習学習が主となります。よって、自分で積極的に家庭学習を行うことが大切です。家庭学習が苦手という生徒は、授業日以外の登校日を増やし、学校で学習することをお勧めします。分からないところがあれば、先生が学習サポートをしますので安心してください。

また、他の高等学校にはない様々な体験型学習科目や専門科目がありますので、興味のある生徒はその科目を履修すれば、学習の幅が広がりますので期待してください。

今までの高校生活とは異なり、空き時間が多くあります。趣味やアルバイト（社会進出には非常に役立ちます）等を行い、新しい高校生活をエンジョイしましょう！

(8) サテライト（以後ST）知立校在宅コースの皆さんへ

ST知立校のみ、転入学・編入学の生徒は「在宅コース」の在籍となります。ルールが全く異なりますので、「在宅コースは・・・」、「在宅コースを除く」など注意書きに注意して読んでください。

6 学習活動

(1) 教育課程の編成

本校は教育基本法及び学校教育法の定めるところにより、中学校教育の基礎の上に、広域通信制（長野県・岐阜県・愛知県・三重県）・単位制課程による高等学校教育を施し、自然豊かな環境の中で信州学を学ぶことを通して、誠実にして豊かな情操をもち、社会で生き抜く実力ある人を育てることを目的とします。

また、緑誠蘭高等学校の蘭（あららぎ）本校がある長野県南木曾町に卒業までに1回以上訪れる（年間2回訪れる機会有り、**在宅コースを除く**）ことにより、南木曾町が誇る様々な伝統工芸体験、妻籠宿の町並み、様々な文化財から信州学を学び、歴史や伝統を大切に作る心情を育み、南木曾町の豊かな自然環境に触れ合い、アウトドア・防災技術などを学ぶことで自然を体感し、共生できる力を育む教育を行います。

さらに、高等学校卒業後を見据え、社会人として必要なスキルであるコンピュータ技術の基礎科目を履修することにより、コンピュータスキル（Microsoft Office系、その他）を持って社会に進出できるようにします。また、キャリア教育につながるプログラミング・コンピュータグラフィック（CG）・調理スイーツに関わる技術習得を目指す専門コースを用意しています。

以上のように、緑誠蘭高等学校は他の学校にはない特色を生かした教育課程を編成しています。

本校は、通信制・単位制課程の高等学校です。学年がなく進級の条件がありませんので自分のペースで学習ができ、通信制による家庭学習（最低数の登校授業が必要）から週1日以上登校目標（**在宅コースを除く**）で無理なく普通科高等学校を卒業できます。自分の将来に向けてもっとやる気が出れば、専門コースを履修し、技術を習得することで、次の進路（進学・就職）へのステップアップができます。特に上級校の山本学園情報文化専門学校専門課程（コンピュータ）・中部ファッション専門学校への進学はスムーズです。

いよいよ高等学校生活の一步を踏み出します。「継続は力なり」という言葉があるように、日々の家庭学習を忘れないようにして、履修した単位は必ず修得（合格）できるように努力してください。

最後に、せっかく緑誠蘭高等学校に入学されたのです、緑誠蘭高等学校の学習進度に慣れたら、ぜひ専門コースの勉強をしませんか。努力は必ずあなたに報います。



※ 履修イメージ

(本年度開講されない科目があります)

蘭本校・塩尻校・中津川校
・知立校 登校型コース

知立校
在宅型コース

卒業まで絶対に履修する科目(必修科目)

現代の国語 言語文化 地理総合 歴史総合 公共 数学Ⅰ
科学と人間生活(他理科1科目) 体育 保健 美術Ⅰ or 書道Ⅰ
英語コミュニケーションⅠ 家庭総合 情報Ⅰ 総合的な探究の時間

卒業単位数になるまで加算する科目(選択科目)

論理国語 文学国語 国語表現 倫理 政治・経済 数学A・Ⅱ
物理基礎 化学基礎 生物基礎 地学基礎 美術Ⅱ or 書道Ⅱ
論理・表現Ⅰ 情報Ⅱ 総合的な探究の時間 理数探究基礎

中学までの基礎学力に自信がない時(選択科目)

基礎教養
国語・数学・英語・理科・社会

緑誠蘭独自の教養科目(学校設定科目)

教養人文 教養探究 教養自然科学

信州学・伝統工芸(実習有)
ブッシュクラフト

信州学・伝統工芸(実習無)

コンピュータ基礎科目
コンピュータスキルを身に付けよう!

プログラミング基礎(JAVA)、CG基礎

パソコン基礎 (Windows 操作)
ビジネス文書演習Ⅰ・Ⅱ (Word)
情報処理演習Ⅰ・Ⅱ (Excel)
WEB デザイン (HTML)
プレゼンテーション (PowerPoint)

ビジネスに必要な知識を学ぶ(商業科目)

ビジネスマナー

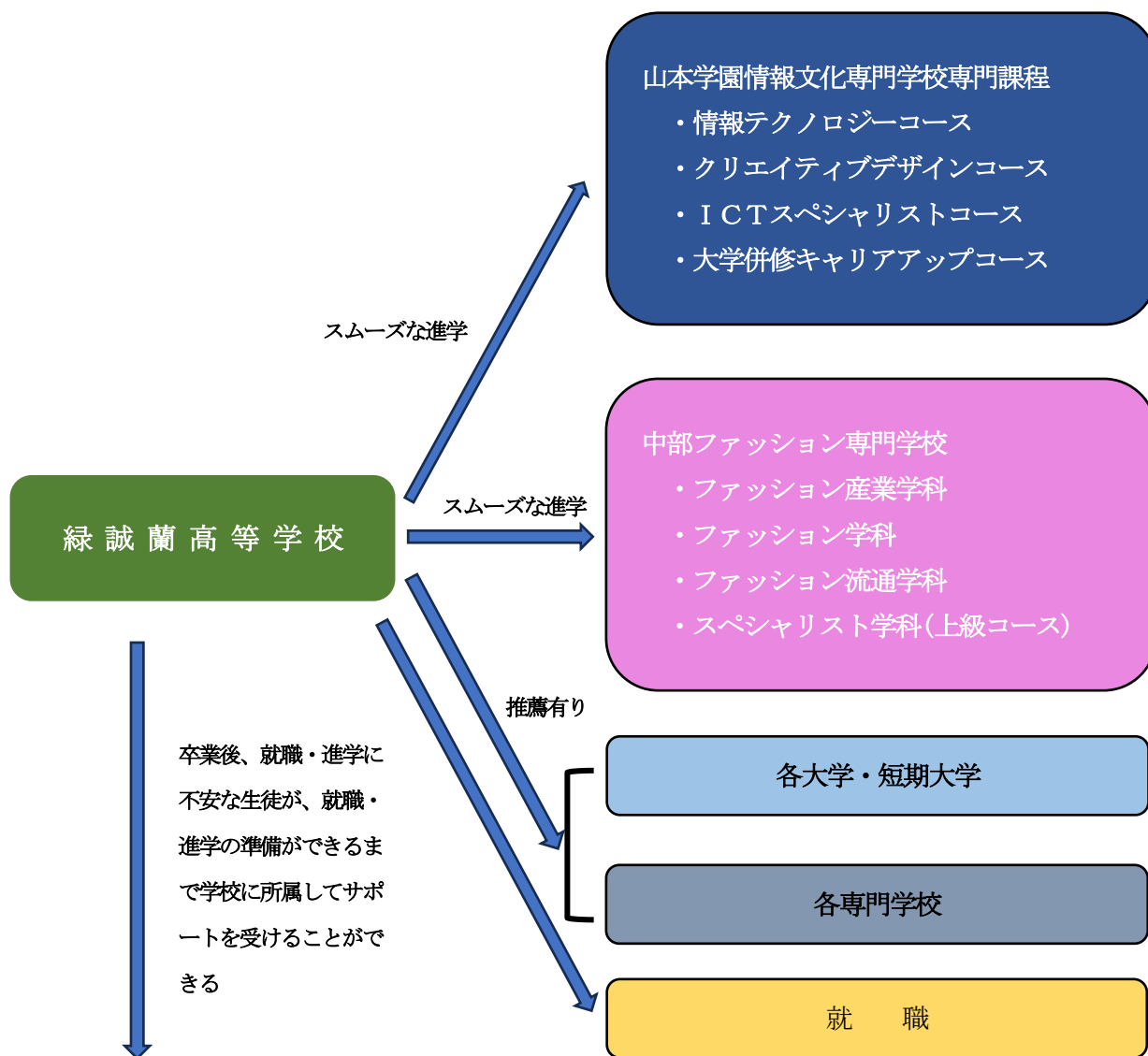
ビジネス基礎 グローバル経済
マーケティング 課題研究
情報処理 ※商業科目は2026年度開講しません

将来の進路に役立つ技術を学ぶ

プログラミング応用Ⅰ・Ⅱ CG応用Ⅰ・Ⅱ
クッキング・スイーツ 調理スイーツ実習Ⅰ・Ⅱ

ハンドクラフト

※ 卒業後の進路



緑誠蘭高等学校
科目別履修課程

※ 卒業後、学習したい科目のみ履修して在籍することができます。

※ 科目別履修課程を参照



(2) 教育課程

ア 教育課程表

2026年度入学生用（サテライト知立校在宅コースを除く）

2026年度			教育課程表																		
履修制限	科目種類	教科	科目	2026年度			2027年度			法定及び学校標準単位数	必修及び選択	緑誠蘭高等学校開講									
				月木コース		火金コース	予定		1単位につき			1単位につき									
				前期	後期	前期	後期	前期	後期			法定レポート回数	法定スクーリング単位数時間数	開講単位数	最大修得可能単位数※4	レポート提出回数	スクーリング単位数時間数	授業総数(単位時間数)※5	通商授業単位数時間数	減免後「スターレ」単位数時間数	
各学科に共通する各教科・科目	国語	現代の国語	言語文化	○	○	○	○	2	必修	3	1	2	2	6	2	4	3	1			
			論理国語 a			○	○	2	選択	3	1	2	2	6	2	4	3	1			
			論理国語 b			○	○	2	選択	3	1	2	2	6	2	4	3	1			
			文学国語 a	○				2	選択	3	1	2	2	6	2	4	3	1			
			文学国語 b		○			2	選択	3	1	2	2	6	2	4	3	1			
			国語表現 a			○	○	2	選択	3	1	2	2	6	2	4	3	1			
		地理・歴史	地理総合	歴史総合	○	○	○	○	2	必修	3	1	2	2	6	2	4	3	1		
				公共	○				2	必修	3	1	2	2	6	2	4	3	1		
				倫理		○			2	選択	3	1	2	2	6	2	4	3	1		
		公民	政治・経済	倫理		○			2	選択	3	1	2	2	6	2	4	3	1		
				数学Ⅰ	○				3	必修	3	1	3	3	9	3	8	6	2		
				数学Ⅱ a			○	○	4	選択	3	1	2	2	6	2	4	3	1		
		数学	数学Ⅱ b	数学Ⅱ b			○	○	4	選択	3	1	2	2	6	2	4	3	1		
				数学A		○			2	選択	3	1	2	2	6	2	4	3	1		
				科学と人間生活		○	○		2	必修	3	4	2	2	6	8	12	8	4		
	理科	物理基礎	物理基礎		○			2	選択必修①	3	4	2	2	6	8	12	8	4			
			化学基礎		○			2	選択必修①	3	4	2	2	6	8	12	8	4			
			生物基礎	○				2	選択必修①	3	4	2	2	6	8	12	8	4			
	保健体育	体育(1単位)	体育(1単位)	○	○	○	○	2	必修	3	4	2	2	6	8	12	8	4			
			体育(2単位)		○	○	○	2	必修	3	4	2	2	6	8	12	8	4			
			保健	○	○	○	○	2	必修	3	1	2	2	6	2	4	3	1			
	芸術	美術Ⅰ	美術Ⅰ	○	○	○	○	2	選択必修③	3	4	2	2	6	8	12	8	4			
			美術Ⅱ		○			2	選択	3	4	2	2	6	8	12	8	4			
			書道Ⅰ	○				2	選択必修③	3	4	2	2	6	8	12	8	4			
	外国語	英語コミュニケーションⅠ	英語コミュニケーションⅠ	○	○	○	○	3	必修	3	4	3	3	9	12	18	12	6			
			英語コミュニケーションⅡ a			○	○	4	選択	3	4	2	2	6	8	12	8	4			
			英語コミュニケーションⅡ b			○	○	4	選択	3	4	2	2	6	8	12	8	4			
	家庭	家庭基礎	家庭基礎				臨時開講	2	必修	2	2	2	2	4	4	6	4	2			
			家庭総合 a		○	○		4	必修	2	2	2	2	4	4	6	4	2			
			家庭総合 b	○				2	必修	2	2	2	2	4	4	6	4	2			
	情報	情報Ⅰ	情報Ⅰ	○				2	必修	2	2	2	2	4	4	8	6	2			
			情報Ⅱ			○	○	2	必修	2	2	2	2	4	4	8	6	2			
			理数探究基礎(集中)	△集	△集	△集	△集	△	1	選択	1	1	1	1	1	3	2	1			
	理数	理数探究	理数探究	△集	△集	△集	△集	△	2-5	選択	1	1	2	4	2	2	4	3	1		
			総合的な探究の時間(2単位)	○	○	○	○	3-6	必修④	2	2	2	2	4	4	6	0	4(減免無し)			
			総合的な探究の時間(集中・1単位)	△集	△集	△集	△集	△	3-6	必修④	2	2	1	6	2	2	4	0	2(減免無し)		
	※1 専攻科目	商業	ビジネス基礎	ビジネス基礎				▲	2	選択	3	2	2	2	6	4	8	6	2		
				グローバル経済				▲	2	選択	3	2	2	2	6	4	8	6	2		
				マーケティング				▲	2	選択	3	2	2	2	6	4	8	6	2		
	※2・3 学校設定教科	一般	基礎教養(数学)	基礎教養(数学)	△水	△水		△	2-10	選択⑤	3	2	2	2	6	4	6	4	2		
				基礎教養(国語)	△水	△水		△	2-10	選択⑤	3	2	2	2	6	4	6	4	2		
				基礎教養(英語)	△水	△水	△水	△	2-10	選択⑤	3	2	2	2	6	4	6	4	2		
	※2・3 学校設定教科	専門基礎	プログラミング基礎(PGコース)	プログラミング基礎(PGコース)	△水	△水		△	2	選択	2	3	2	2	4	6	9	6	3		
				C/G基礎(C/Gコース)	△水	△水		△	2	選択	2	3	2	2	4	6	9	6	3		
				ハンドクラフト(7ヶ月コース)	△水	△水		△	2	選択	2	3	2	2	4	6	9	0	3		
※2・3 学校設定教科	検定対策	ビジネス文書演習Ⅱ	ビジネス文書演習Ⅱ	△水	△水		△	2-4	選択	2	3	2	4	4	6	9	6	3			
			情報処理演習Ⅱ	△水	△水		△	2-4	選択	2	3	2	4	4	6	9	6	3			
			PGコース	△水	△水		△	2	選択	2	3	2	2	4	6	15	0	6(減免無し)			
※2・3 学校設定教科	C/Gコース	C/G応用Ⅰ(集中知立校)	C/G応用Ⅰ(集中知立校)	△水	△水		△	2	選択	2	3	2	2	4	6	15	0	6(減免無し)			
			C/G応用Ⅱ(集中知立校)	△水	△水		△	2	選択	2	3	2	2	4	6	15	0	6(減免無し)			
			調理スリーブコース	△水	△水		△	2	選択	2	3	2	2	4	6	15	0	6(減免無し)			
※2・3 学校設定教科	ファッションコース	ファッション造形実習Ⅱ(集中知立校)	ファッション造形実習Ⅱ(集中知立校)	△水	△水		△	2	選択	2	3	2	2	4	6	15	0	6(減免無し)			
			ファッション造形実習Ⅰ(集中知立校)	△水	△水		△	2	選択	2	3	2	2	4	6	15	0	6(減免無し)			
			ファッション造形実習Ⅱ(集中知立校)	△水	△水		△	2	選択	2	3	2	2	4	6	15	0	6(減免無し)			

※1 専攻科目とは、主として専門学科において開講する教科・科目の略称です。
 ※2 学校設定教科の科目で卒業単位数(7.4単位)に含めることができる単位数は、2.0単位までです。但し、2.0単位を超えて修得することはできません。
 ※3 学校設定及び学校設定教科とは、学校設定教科・科目の略称です。

※4 最大修得可能単位数とは、卒業単位数(7.4単位)に含めることができる最大修得単位数です。
 ※5 授業総数は、計画段階のものであり、実際の授業数と若干異なることがあります。

2026年度サテライト知立校在宅コース入学生用

2026年度		教育課程表 (S T知立校在宅コース)																	
履修制限	科目種類	教科	科目	2026年度		2027年度		法定及び学校標準単位数	必修修及び選択	1単位につき				緑誠蘭高等学校開講					
				月木コース		火金コース				予定	法定レポート回数	法定「スラッパ」単位数	開講単位数	最大修得可能単位数※3	レポート提出回数	スタディング単位数	授業総数(単位時間数)※4	遠隔授業単位数	減免後「スラッパ」単位数
				前期	後期	前期	後期												
各学科に共通する各教科・科目 本科生で普通卒業を目指す生徒・科目別履修生	国語	現代の国語						2	必修修	3	1	2	2	6	2	4	3	1	
		言語文化	○	○	○	○	○	○	2	必修修	3	1	2	2	6	2	4	3	1
		論理国語 a			○		○			選択	3	1	2	2	6	2	4	3	1
		論理国語 b				○	○			選択									
		文学国語 a	○				○			選択	3	1	2	2	6	2	4	3	1
		文学国語 b		○			○			選択									
		国語表現 a			○		○			選択	3	1	2	2	6	2	4	3	1
		国語表現 b				○	○			選択									
	地理・歴史	地理総合		○	○		○		2	必修修	3	1	2	2	6	2	4	3	1
		歴史総合	○		○		○		2	必修修	3	1	2	2	6	2	4	3	1
	公民	公共	○		○		○		2	必修修	3	1	2	2	6	2	4	3	1
		倫理			○		○		2	選択	3	1	2	2	6	2	4	3	1
		政治・経済		○			○		2	選択	3	1	2	2	6	2	4	3	1
	数学	数学 I	○		○		○		3	必修修	3	1	3	3	9	3	8	6	2
		数学 II a			○		○			選択	3	1	2	2	6	2	4	3	1
		数学 II b				○	○			選択									
		数学 A	○	○			○		2	選択	3	1	2	2	6	2	4	3	1
		理科	科学と人間生活		○	○		○		2	必修修	3	4	2	2	6	8	12	8
	物理基礎				○		○		2	選択必修修①	3	4	2	2	6	8	12	8	4
	化学基礎						○		2	選択必修修①	3	4	2	2	6	8	12	8	4
	生物基礎		○				○		2	選択必修修①	3	4	2	2	6	8	12	8	4
	地学基礎			○	○		○		2	選択必修修①	3	4	2	2	6	8	12	8	4
	保健体育	体育(2単位)		○	○		○			必修修②	2	10	2		2	10	12	0	10
		体育(1単位)	○		○		○		7~8	必修修②	1	5	1	8	1	5	7	0	5
		体育(集中・1単位:知立・中津川のみ)		○	○		○			必修修②	1	5	1		1	5	7	0	5
		保健	○		○		○		2	必修修	3	1	2	2	6	2	4	3	1
	芸術	美術 I	○		○		○		2	選択必修修③	3	4	2	2	6	8	12	8	4
		美術 II			○		○		2	選択	3	4	2	2	6	8	12	8	4
書道 I		○		○		○		2	選択必修修③	3	4	2	2	6	8	12	8	4	
書道 II				○		○		2	選択	3	4	2	2	6	8	12	8	4	
外国語	英語コミュニケーション I	○		○		○		3	必修修	3	4	3	3	9	12	18	12	6	
	英語コミュニケーション II a					■		4	選択	3	4	2	2	6	8	12	8	4	
	英語コミュニケーション II b					■		4	選択										
	論理・表現 I	○	○			○		2	選択	3	4	2	2	6	8	12	8	4	
家庭	家庭基礎							2	必修修 ※選択不可	2	2	2	2	4	4	6	4	2	
	家庭総合 a		○	○		○		4	必修修	2	2	2	2	4	4	6	4	2	
	家庭総合 b	○		○		○		4	必修修										
情報	情報 I	○		○		○		2	必修修	2	2	2	2	4	4	8	6	2	
	情報 II					■		2	選択	2	2	2	2	4	4	8	6	2	
理数	理数探究基礎(集中)		△	△		△		1	選択	1	1	1	1	1	1	3	2	1	
	理数探究					■		2~5	選択	1	1	2	4	2	2	4	3	1	
総合的な探究の時間(2単位)				○	○	○	○	○		必修修④	2	2	2		4	4	4	0	4
総合的な探究の時間(集中・1単位)				△	△	△	△	○		必修修④	1	6			2	2	2	0	2
学校設定教科・科目 ※1・2	一般	基礎教養(数学)	△	△		△			選択⑤	3	2	2			6	4	6	4	2
		基礎教養(国語)	△	△		△			2~10	選択⑤	3	2	2		6	4	6	4	2
		基礎教養(英語)		△	△		△			選択⑤	3	2	2		6	4	6	4	2
		基礎教養(理科)	△	△		△				選択⑤	3	2	2		6	4	6	4	2
		基礎教養(社会)		△	△		△			選択⑤	3	2	2		6	4	6	4	2
		ビジネスマナー		△	△		△		2	選択	3	2	2	2	6	4	6	4	2
		信州学・伝統工芸	○	○	○		○		2~10	選択	2	2	2	10	4	4	4	0	4
		教養人文	△	△		△		1~6		選択	2	2	1		2	2	4	3	1
		教養探究		△	△		△		1~6	選択	2	2	1		2	2	4	3	1
		教養自然科学					△		1~6	選択	2	2	1		2	2	4	3	1
	専門基礎	プログラミング基礎(PGコース)	△	△		△		2	選択	2	3	2	2	4	6	9	6	3	
		CG基礎(CGコース)	△	△		△		2	選択	2	3	2	2	4	6	9	6	3	
		クッキング・スイーツ(調理イーフコース)	△	△		△		2	選択	2	3	2	2	4	6	6	0	6	
		プログラミング応用 I(集中知立校)	△	△		△		2	選択	2	3	2	2	4	6	15	0	6	
		プログラミング応用 II(集中知立校)		△	△		△		2	選択	2	3	2	2	4	6	15	0	6
		CG応用 I(集中知立校)	△	△		△		2	選択	2	3	2	2	4	6	15	0	6	
		CG応用 II(集中知立校)		△	△		△		2	選択	2	3	2	2	4	6	15	0	6
		調理スイーツ実習 I(集中知立校)	△	△		△		2	選択	2	3	2	2	4	6	15	0	6	
調理スイーツ実習 II(集中知立校)		△	△		△		2	選択	2	3	2	2	4	6	15	0	6		

※1 学校設定教科の科目で卒業単位数(7.4単位)に含めることができる単位数は、2.0単位までです。但し、2.0単位を超えて修得することはできません。

※2 学校設定及び学校設定教科とは、学校設定教科・科目の略称です。

※3 最大修得可能単位数とは、卒業単位数(7.4単位)に含めることができる最大修得単位数です。

※4 授業総数は、計画段階のものであり、実際の授業数と若干異なることがあります。

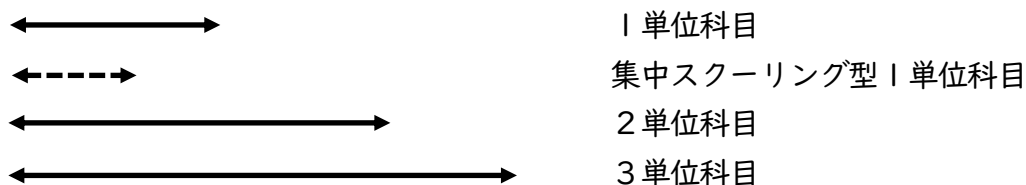
(3) 卒業要件

- ア 3年以上の在籍。前籍校の在籍期間（但し、休学期間を除く）を合算できます。
- イ 法定必修科目を40単位以上履修し、卒業認定単位数の74単位以上の修得。
- ウ 卒業までに、特別活動に30単位時間以上の参加。

(4) 期と履修期間

- ア 期とは以下のように学則で定める学期を表します。
 - 前期 4月1日から 9月30日まで
 - 後期 10月1日から 3月31日まで
- イ 1単位あたりの履修期間は原則2ヶ月間とします。2単位科目は4ヶ月間、3単位科目は6ヶ月間を履修期間とします。
- ウ 4単位の科目は2単位に分けて開講します。（例）家庭総合a、家庭総合b

<履修期間のイメージ>



科目単位	前期						後期					
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1単位	←————→		←————→		←-----→		←————→		←————→		←-----→	
2単位	←————→			←————→			←————→			←————→		
3単位	←————→			←————→			←————→					



(5) 日課表

	開始時刻 ~ 終了時刻
第1限	9:20 ~ 10:10
第2限	10:20 ~ 11:10
第3限	11:20 ~ 12:10
昼放課	12:10 ~ 13:05
第4限	13:05 ~ 13:55
第5限	14:05 ~ 14:55
第6限	15:05 ~ 15:55

(6) 履修と単位修得

ア 受講登録

- ① 1年を前期（4～9月）、後期（10～3月）に分け、年間2回（前期は前年度3月、後期は9月）の受講登録をします。
受講登録は担任との三者面談を兼ねますので1～2時間かかります。
- ② 各期最低3単位以上を履修するものとします。
※但し、卒業年度において、既に卒業認定可能な単位数を修得もしくは修得見込みの場合はその限りではありません。
- ③ 年間の修得単位合計は34単位までとします。
- ④ 卒業認定単位数の74単位に含めることができる学校設定科目は20単位までです。
※学校設定科目を20単位以上履修・修得することは可能ですので、多くの科目を学習しましょう。
<参考> 全日制高等学校は90単位以上修得します。
- ⑤ 校外学習を伴う科目・特別活動、専門コースで宿泊を伴う科目の開講には一定数以上の受講者がいないと開講されない場合があります。

<校外学習を伴う科目・特別活動>

体育（集中）、信州学・伝統工芸、ブッシュクラフト、
英会話実習、総合的な探究な時間、
特別活動（研修旅行、校外学習、観劇、テーブルマナー）など

<専門コースで宿泊を伴う科目>

プログラミング応用Ⅰ・Ⅱ、CG応用Ⅰ・Ⅱ、
調理スイーツ実習Ⅰ・Ⅱ

※ST知立校にて実施しますので、ST知立校以外は宿泊になります。

イ 単位認定条件

- ① 法定面接指導（スクーリング）単位時間数以上の出席
※遠隔授業で学習を行なっている科目については、出席しなければならないスクーリング単位時間数は、減免されたスクーリング単位時間数（教育課程表－内減免後スクーリング単位時間数参照）となります。
- ② 法定添削指導（レポート）規定数の提出
※レポートは、原則全ての解答を記入しての提出となります。
- ③ 単位認定試験の合格
※総合的な探究の時間については①・②の条件を満たした上で学習状況などで総合的に評価します。

ウ 単位認定試験

- ① 受験資格 前項目の①、②を満たしているもの
- ② 主題内容 知識・技能及び思考・判断・表現から出題 ※1
- ③ 合格基準 評点が30点以上（評定2以上）

$$\text{評点} = \left[\text{単位認定試験点数（素点）} + \frac{\text{主体的な学習の評価}}{\times 2} \right] + \frac{\text{平常点}}{\times 3}$$

- ※1 観点別評価とは、①知識・技能、②思考・判断・表現、③主体的に学習に取り組む態度の3つの観点から、その実現状況を分析的に捉えることを目指し、令和4年度から高等学校に導入された評価方法です。
※評点が100点を超えた場合は、評点を100点とします。
- ※2 『主体的な学習の評価』は学習期間内の家庭・学習支援施設等での学びを評価するためのもので『家庭での学習＝レポートの探究型記述問題』を評価し、素点に加点をします。
- ※3 平常点はレポートの取り組み、提出期間、スクーリング時の取り組む態度等を総合して評価します。

- ④ 評点が基準に満たない場合は追試験を実施します。
合格するまで数回受験（上限あり）が可能ですが、学期内に合格できるように学習してください。追試験で合格した場合の評点は30点となります。
- ⑤ 単位認定試験（追試験を含む）をやむを得ない理由（忌引、出校停止、学校感染症の罹患及び疑い（証明書が必要）、疾病・怪我【本人または保護者等連絡有り】等）で欠席した場合、再試験を行います。再試験は1回目のみ無料です。
※再試験を【欠席理由及び連絡の有無を問わず】欠席すると、次回からは特別再試験となり次項の「単位認定試験を自己都合で欠席」と同じ有料になります。
- ⑥ 単位認定試験（追試験を含む）を自己都合（【本人または保護者等連絡無し】の疾病・怪我による欠席を含む）で欠席した場合は、
試験料 1,000円/回・科目
を事前に支払うことで特別再試験を受験することができます。
※特別再試験を欠席した場合は、試験料を支払うことで特別再試験の受験機会が再度設けられます。
- ⑦ 特別再試験は受験期間がありますので、必ず受験期間内で合格するように学習してください。
- ⑧ 評定は成績表に記載されます。※評定「1」は単位不認定となります。

エ 授業（スクーリングと遠隔授業）

- ① 授業は、科目担当者が直接対面で行う授業（スクーリング）と、科目担当者がスクリーン投影されて行う遠隔授業があります。
※体育は、原則遠隔授業はありません。
- ② 授業中は授業に集中しましょう。
居眠り、よそごと（スマホを見る等）など学習意欲がないと判断される場合、授業中にレポートや他の学習を行ったり、またはイヤホンをしたり、フードや帽子を被ったり等の受講する服装等として相応しくない場合は、欠席扱いになります。
- ③ 10分以上の遅刻は欠席扱いになります。なお、不足した法定スクーリング単位時間数分は補習等で補う必要があります。
- ④ 授業は各ST校に同時配信していますので、他のST校でも受講ができます。他のST校で受講したい時は事前に各校職員に申し出をしてください。
- ⑤ スクーリングは、必ず法定スクーリング単位時間数以上出席してください。

※遠隔授業による学習を行う科目については、出席しなければならないスクーリング単位時間数は減免されたスクーリング単位時間数（教育課程表－内減免後スクーリング時間数参照）となります。

- ⑥ スクーリングを欠席した場合は、他のST校で行われるスクーリングに出席することにより法定スクーリング単位時間数を補うことができます。
※他のST校に行く交通費等は実費となります。
- ⑦ 出席したスクーリング単位時間数が、法定スクーリング単位時間数（遠隔授業による学習を行う科目は内減免後スクーリング時間数）を下回ると、原則単位認定試験の受験資格を失います。しかし、各学期後半のスクーリング補充期間において、各校で行われるスクーリング補習に出席することにより回復することができます。
- ⑧ スクーリング補充期間とは、前期・後期の後半において約2週間に渡り不足するスクーリング単位時間数を補うために設定される期間です。
- ⑨ スクーリング補充期間で設定される各科目のスクーリング補習単位時間数は、各校1単位時間（普通の授業が2時限連続で行われる科目においては2単位時間）ですので注意をしてください。

各校1単位時間	スクーリング補習単位時間数			
	蘭本校	ST塩尻校	ST中津川校	ST知立校
普通の授業を2時限連続で行う科目 理科・外国語・芸術・ 数学・情報・家庭教科 の科目	2	2	2	2
その他の科目	1	1	1	1

<重要>

スクーリング補充期間のスクーリング補習を欠席すると、単位認定試験受験資格を失います。

- ⑩ 学校設定科目の内、実習を伴う以下の科目は、スクーリング補充期間を設けませんので、スクーリングを欠席しないようにしてください。

英会話実習	ブッシュクラフト	パソコン基礎
WEBデザイン	プレゼンテーション	ハンドクラフト
ビジネス文書演習Ⅰ・Ⅱ	情報処理演習Ⅰ・Ⅱ	
プログラミング基礎	プログラミング応用Ⅰ・Ⅱ	
CG基礎	CG応用Ⅰ・Ⅱ	
クッキング・スイーツ	調理スイーツ実習Ⅰ・Ⅱ	

- ⑪ 遠隔授業の各授業は、授業後インターネット上に録画されますので、登校することが難しい場合や授業を欠席した場合、後で復習をしたい場合など、いつでも視聴ができます（UPするまで1日以上かかる場合があります）。
- ⑫ 上記⑪の録画授業を視聴した場合は、必ず**視聴報告書**を提出してください。視聴報告書を提出しないと、スクーリングの減免対象になりません。視聴報告書が提出されない場合は、法定スクーリング回数を満たさないと単位認定試験の受験資格がなくなります。よって、他のST校のスクーリングに出席するか、スクーリング補充期間の補習に出席し、法定スクーリング回数を満たす必要があります。

オ 添削指導（レポート）

- ① レポートは前期・後期の初めにその期に必要な全てのレポートを配布します。授業が始まる前に提出期限がくる場合があります。よって、レポートが配布されてから提出期限までに間に合うよう、計画的に学習してください。
- ② 必ず自分の力で取り組みましょう。他人のレポートを写す、写させる、代筆等の行為があった場合は、双方のレポートを無効とし、単位認定試験受験資格を失います。
- ③ 問題はすべて答えましょう。解答用紙に空欄があるや適当に答えが書いてある場合は、再提出となります。答えることができない箇所がある場合は、登校して先生に教えてもらいましょう。

- ④ 提出期限は、
- | | | 前期 | 後期 |
|------------|-------|-----|------|
| レポート回数9回科目 | 第1～3回 | 5月末 | 10月末 |
| | 第4～6回 | 6月末 | 11月末 |
| | 第7～9回 | 7月末 | 12月末 |
| レポート回数6回科目 | 第1・2回 | 5月末 | 10月末 |
| | 第3・4回 | 6月末 | 11月末 |
| | 第5・6回 | 7月末 | 12月末 |

レポート回数4回科目	第1回	5月末	10月末
	第2回	6月末	11月末
	第3・4回	7月末	12月末
レポート回数2回科目	第1回	5月末	10月末
	第2回	6月末	12月末

以上のように設定していますが、科目ごとに第何回目のレポートごとの提出期限が異なります。科目ごとの提出期限前に提出できるように学習しましょう。

- ⑤ レポートの提出期限を厳守することはもちろんのこと、早めに提出して単位認定試験の試験勉強をしましょう。提出が遅れた場合、返却が遅くなり、単位認定試験の試験勉強に間に合わない場合があります。また、内容に不備（空欄や適当な解答）があった場合受理せず、再提出になります。早めに出すように心がけましょう。
- ⑥ レポートまたは視聴報告書の全てが最終提出期限（年間行事予定で確認してください）までに提出されない時、該当科目において単位認定試験受験資格を失いますので、注意しましょう。
- ⑦ レポートは読みやすい字を心掛け、丁寧に記入しましょう。文字が読みにくい場合などは再提出になる場合があります。

（7）特別活動

高等学校を卒業するためには特別活動に30単位時間以上出席しなければなりません。学校から案内のあった校外学習や進路説明会、各講習などには積極的に参加するようにしましょう。

特に前後期の初めと終わりにあるガイダンスでは大切な連絡をします。出席するようにしましょう。



7 学校生活

(1) 基本方針

緑誠蘭高等学校は、向学心ある者を対象に広く勉学の機会を設け、高等学校卒業資格取得に向けた教育活動と学習支援を目的としています。従って、年齢や就労の有無を問いませんが、社会的な規範に反する行為及び学習意欲が認められない、他の生徒の学習を妨げる行為等は許されません。下記の事柄を遵守しましょう。

(2) 生徒心得

- ア 法律・条例、公共のマナーを守りましょう。
- イ 暴言・暴力・器物損壊・他者の学習妨害行為をしないようにしましょう。
- ウ 保護者等（生徒が成人の場合を除く）の監督下またはそれに準ずる家庭生活の場からの登校しましょう。
- エ バイク・自動車での通学はしないようにしましょう。自転車通学を希望する場合は自転車通学許可願、自転車損害賠償請求保険加入証の写しを所属校に提出し、許可を受けましょう。
- オ 教室での飲食は禁止とします。飲食は下記の場所で行い、ゴミ等の処理は各自が責任を持って行いましょう。ただし、授業中の水分補給は適宜必要に応じてできますが、水筒・ペットボトルなどの飲料品は必ずカバンにしまいましょう。
蘭本校：レクリエーションルーム 塩尻校：フリースペース
中津川校：フリースペース 知立校：控室
- カ 学校感染症等にかかった場合、又は家族に学校感染症等が発生した場合は至急、学校に連絡しましょう。
- キ 生徒として不適切な言動、学習の場として不適切な服装・装飾等があり、職員から指導された場合は素直に指示に従いましょう。

(3) 休学・復学・退学・除籍

ア 休学

- ① 生徒が疾病その他やむを得ない事由により長期欠席する場合は、休学することができます。その場合、診断書及びその事由を記した書面と休学願を提出してください。
- ② 休学中においても施設設備費等がかかります。
- ③ 休学は年度内だけ効力があります。したがって、翌年も引き続き休学する場合は、年度末に再び休学願を提出してください。
- ④ 休学中であっても、登校し学習支援を受けることができます。但し、スクーリングに参加してもスクーリング単位時間数にカウントされません。
- ⑤ 休学中の在籍日数は、卒業に必要な在籍期間に合算しません。

- ⑥ 休学中は、就学支援金対象期間に該当しません。

イ 復学

- ① 休学年度内に復学しようとする場合は、復学願を提出することで復学することができます。但し、疾病・けが等による休学の場合は、医師の診断書を必要とします。
- ② 翌年度当初から復学したい場合は、翌年度は自動復学となりますので、復学願を提出する必要はありません。

ウ 退学

- ① 退学しようとする場合は、退学願を提出しなければいけません。
- ② 授業料等の未納がある場合、退学願は受理されません。
- ③ 退学の日付は月末とします。
- ④ 懲戒による退学処分を受けた場合、速やかに退学願を提出しなければいけません。この場合に限り、即日退学とします。

エ 除籍

- ① 次に当てはまる場合、除籍となる場合があります。
 - a 生徒の死亡が確認された場合
 - b 正当な理由がなく、生徒と3か月以上連絡が取れない場合
 - c 正当な理由がなく、授業料等の未納状態が半年以上続いた場合
- ② 除籍の日付は月末とします。

(4) 生徒指導規定

ア 服装等規定

- ① 制服（学校指定・自由購入）を着用する場合
緑誠蘭高等学校の生徒としての自覚と誇りをもって、高等学校生らしい身なりを保つことを原則とします。制服着用に関する規定の詳細を知りたい場合は各校職員まで問い合わせてください。
- ② 本校指定の制服を着用しない場合（私服）
服装・頭髪・装飾等規定を設けませんが、学習の場にふさわしくないと判断した場合、指導します。
<授業等を受講する服装・装飾として相応しくない事例>
帽子やフードをかぶる。
イヤホン・ヘッドフォンをする。
サングラスをする。
- ③ 校内における態度
学校は「不特定多数の生徒が集まる学び場」であることを自覚して、生徒として不適切な言動を慎み、他の生徒に迷惑をかけることなく、学習意欲を持って臨んでください。

<授業等を受講する態度として相応しくない事例>

居眠り、よそごとをする、学習意欲がないと捉えられる態度
スマホやタブレット等を机上におく
飲食物をカバン外に出す

※ 指導され、指示に従わない場合は、授業を受講することはできません。
授業がスクーリングの場合、不足スクーリング数の補充を行いませんので、
注意してください。

イ 懲戒

- ① 基本方針・生徒心得・生徒指導規定に係る問題が発生した時は、
訓告・停学・退学に処されることがあります。
- ② 次に該当する者は退学に処されることがあります。
 - a 社会規範を守れず、改善の見込みがないと認められるもの
 - b 学力劣等で成業の見込みがないと認められるもの
 - c 正当な理由がなく出席が常でないもの
 - d 学校の秩序を乱し、その他生徒として本分に反したもの

(5) 警報発表等

ア 気象警報発表の場合

気象庁から各校舎のある地域と各自が住む地域、通学経路地域に、午前7時現在、
以下の該当警報が発表されている場合は、登校せず、家庭学習とします。

- ① 該当警報
暴風、暴風雪、特別警報、土砂災害警戒情報(レベル4)
- ② S T校がある地域の方針に合わせた警報
長野県 : 竜巻注意報
岐阜県 : 大雨、洪水、大雪警報
愛知県 : ①の警報が、愛知県のいずれかに発令された時
- ③ その他、校長の判断による

イ 登校に利用する交通機関が大雪、大雨、洪水、土砂災害等で途絶・遮断された場合は、各自適切な登校手段を検討・判断し登校してください。また、どうしても登校できない場合は、その旨を学校に連絡してください。

※ 気象警報及び交通途絶についての情報は、各自テレビ・ラジオ・スマホ等で確認しましょう。緊急の場合を除いて、学校への問い合わせはしないように
しましょう。

ウ 南海トラフ地震臨時情報の「調査中」が発表された場合は、以降の情報発表を常に気にしながら通常通り登校してください。「調査中」が発表されてから最短で2時間後に調査結果が発表されます。

調査結果が「巨大地震注意」または「巨大地震警戒」情報が発表された場合は、授業または学校行事を行いません。以下のように行動をしてください。

- ① 登校時に発表 生徒はすみやかに自宅に帰りましょう。安全確保のため学校の方が近いと判断する場合は、学校にそのまま登校してください。
- ② 在校時に発表 安全確認の上、すみやかに生徒は下校します。但し、安全確認ができない場合は学校で待機します。
- ③ 下校時に発表 生徒はすみやかに自宅に帰りましょう。安全確保のために学校の方が安全と判断する場合は学校に戻ってください。
- ④ 在宅時に発表 原則として自宅待機とします。外出しないようにしましょう。

エ 「巨大地震注意」、「巨大地震警戒」情報が発表されている間は、命を守ることを優先し、外出を控え、家庭学習を中心に過ごしましょう。

オ 「巨大地震注意」、「巨大地震警戒」情報が解除された翌日から平常授業とします。「巨大地震注意」の解除は1週間後、「巨大地震警戒」の解除は2週間後が目安です。

カ 南海トラフ地震等大規模地震が起きた場合、次の行動をとりましょう。

- ① 自分、家族等の命を守ることを最優先し、避難行動をとりましょう。
- ② あらかじめ家族等で決められた避難行動をとりましょう。
※ 家族間での連絡方法、避難場所を決めてない生徒は早々に話し合しましょう。
- ③ SNSやネットの誤情報、フェイク情報に惑わされることなく、報道機関、市町村の情報を頼りに行動をしてください。
- ④ 避難先で落ち着いたら、各所属校へ被災状況等を連絡してください。
※裏表紙に各所属校の電話番号が記載されています。
※電話が不通の場合
SMLシステムのメール機能を利用するか、災害用伝言ダイヤル「171」を使用してください。

※ 災害用伝言ダイヤル「171」の録音方法

171 → 1 → (***)***-**** → 録音
(ガダッ)(ガダッ) (生徒の電話番号) (ガダッ)

※ 災害用伝言ダイヤル「171」の再生方法

171 → 2 → (***)***-**** → 再生
(ガダッ)(ガダッ) (生徒の電話番号) (ガダッ)

- ⑤ 学校の再開については、SMLシステムのメール機能を利用して通知します。または学校ホームページ（ブログ）で確認してください。

※ SMLシステムとは Student Mypage Lite System の頭文字をまとめたもので、過去に修得した単位、現在履修している教科の各時間ごとの出席状況やレポートの提出状況などが皆さんのスマートフォンやタブレットでリアルタイムに確認できるものです。皆さんにとって大きな助けになるシステムです。

(6) 法定伝染病罹患時の対応

学校伝染病は、学校保健法に基づいて分類されています。これは、学校において予防すべき感染症の通称です。学校で発生する感染症には、潜伏期間と出席停止期間が定められています。学校伝染病の管理は重要であり、感染拡大を防ぐために適切な対策が必要です。学校や保護者の皆様には医療機関と連携して、適切な予防措置を講じることが求められています。医療機関に相談、学校への連絡をしたうえで対応するようにしてください。

次ページ「学校保健安全法における感染症一覧」



学校保健安全法における感染症について

- 以下の感染症に感染した場合は、学校保健安全法に従い出席を停止とします。
- 学校感染症に罹患した場合は、次の手続きにより、必ず届出のものとする。
 - (1) 発症時に学校に電話で連絡する
 - (2) 医療機関を受診する
 - (3) 治癒後、本校の治癒報告書を提出する

インフルエンザ 新型コロナウイルス感染症 その他の感染症

	伝染病の種類	出席停止期間
第1種	エボラ出血熱	治癒するまで
	クリミア・コンゴ出血熱	
	痘そう	
	南米出血熱	
	ペスト	
	マールブルグ病	
	ラッサ熱	
	急性灰白髄炎	
	ジフテリア	
	重症急性呼吸器症候群	
	中東呼吸器症候群	
	特定鳥インフルエンザ	
第2種	インフルエンザ	発症した後5日を経過し、かつ、解熱した後2日を経過するまで（幼児は解熱した後3日を経過するまで）
	新型コロナウイルス感染症	発症した後5日を経過し、かつ、解熱した後1日を経過するまで
	百日咳	特有な咳が消失するまで、または5日間の適正な抗菌性物質製剤による治療が終了するまで
	麻疹	解熱した後3日を経過するまで
	流行性耳下腺炎	耳下腺、顎下腺又は舌下腺が発現した後5日を経過し、かつ、全身症状が良好になるまで
	風疹	発しんが消失するまで
	水痘	すべての発しんが果皮化するまで
	咽頭結膜熱	主要症状が消退後2日を経過するまで
	結核	感染の恐れがないと認めるまで
	髄膜炎菌性髄膜炎	
第3種	コレラ	感染の恐れがないと認めるまで
	細菌性赤痢	
	腸管出血性大腸菌感染症	
	腸チフス	
	パラチフス	
	流行性角結膜炎	
	急性出血性角膜炎	
	急性出血性結膜炎	
	その他の感染症	
指定感染症及び新感染症は第一種の感染症とみなす	治癒するまで	
第一種もしくは第二種の感染症患者と同居あるいは、感染の疑いがあるもの	学校医及び他の意思の診断において、感染の恐れがないと認めるまで	
第一種又は第二種の感染症が発生した地域から通学する者	学校医の意見のもと適当と認めるまで	
第一種又は第二種の感染症の流行地を旅行した者	学校医の意見のもと適当と認めるまで	

(7) 科目別履修課程

卒業後、就職・進学に不安な生徒が、就職・進学の準備ができるまで科目別履修生として所属してサポートを受けることができます。

生徒の心の成長を待ち、専門コースなどの学校設定科目にチャレンジし、基礎的な技術を習得することにより自信が持てたり、先生方と継続的に接することによりコミュニケーション力を育むことを目的とします。

ア 高等学校を卒業していますので、「高校生」ではありません。よって、就学支援金の受領、定期券の発行、学割など公共のサービスが受けられません。

イ 履修できる科目は、専門コースなどの学校設定科目とします。国語、数学、社会などの一般的な教科に属する科目は履修できません。

ウ 受講したい科目が定員オーバーなどがある場合は、受講を制限する場合があります。

エ 研修旅行、校外学習、観劇、テーブルマナーなどの一部の特別活動・行事には参加できません。

オ 半年（前期、後期）ごとの所属となります。よって、延長したい場合は次期の履修登録をもって申請となります。

※ 所属期間は特に設けませんが、本校の基本方針、生徒心得に違反をした場合は延長することはできません。

カ 科目別履修生納入金

入学金	20,000円
授業料（1単位）	12,000円
施設設備費	6,000円/月

※各期において、最低3単位以上履修してください。

(8) 保護者へのお願い

高等学校教育は義務教育とは違います。特に本校のような私立学校では学校独自の特色ある教育目標の実現を目指し、教育活動を展開しています。本校の基本方針及び指導方針をご理解いただき、ご支援、ご協力をお願いします。

また、学校の諸規定は個人の権利を保障するだけでなく、他人の権利も保障するものです。お子さんが集団生活の中で、正しい社会常識と判断力を身に付けて、立派な社会人として成長するようご協力をお願いします。

ア 本校生徒としての自覚を持ち、服装、態度、言葉遣いに注意し、大切な時期を無駄なく過ごさせてください。

イ スマートフォンやパソコン等でのゲームのやりすぎやSNS等（文章、画像）でのトラブルを避け、また使用時間等についてもご家庭で十分管理してください。

ウ 学校にすべてを任せないで、基本的な生活習慣（しつけ）は、家庭で身に付けるように適切な指導をしてください。

- エ 不慮の災害・トラブルを防止するため、日頃から道徳、法令、規則等を守るように指導してください。万一事故が発生した場合は至急学校に連絡してください。
- オ 成績表をはじめ、学校からご家庭への通信や連絡には必ず目を通し、捺印を要するものは保護者の手で手続きをしてください。
- カ 在学中に18歳を迎えますと成人となり、原則保護者の許可なく手続きができるようになります。本校では生徒が成人であっても保護者等に記載のある方に相談してから手続きをとることを原則としています。
- キ 保護者・保証人の身分、住所、通学方法に変更があった場合や家庭に異動があった場合、所属校を変更したい場合はただちに所属校に届け出てください。
- ク 授業料等学納金の未納のために督促を受けたり、保証人の来校を求められたりすることがないようにしてください。

(9) タブレットPC及びインターネット利用環境のご用意のお願い

緑誠蘭高等学校では、情報教育の充実及び社会への進出のためのスキルアップを目指して、2025年度よりパソコン関係授業及びオンラインサービスを強化しています。通信制高等学校は家庭学習が主であるため、授業で学んだ内容を深く理解し定着させるためには自宅での学習が重要です。パソコン関係の授業（教育課程表を参照）を履修する場合、教室と家庭で同じ環境のパソコンを利用できれば、学習効率も上がります。卒業条件においてパソコン関係授業は必履修ではございませんが、将来社会への進出においてコンピュータ利用スキルを身につけておくことは非常に重要です。

また、2026年度からは、紙で配布されているレポートを電子化し、問題をタブレットで提供できるようになります。

つきましては、タブレットPC（推奨、ノートパソコンまたはタブレットでも可）またはタブレットをご用意していただき、授業に持参していただきたいと存じます。同時に家庭におけるインターネット環境の整備もお願いします。

なお、すでにタブレット及びパソコンを所有されている場合は、それらを利用することも可能です。レポートを紙ベースでご希望の場合、有料での配布となります。

※ 推奨モデルのご購入については、SMLからのリンクによるオンライン購入ができます。各ご家庭でお申し込みください。

8 その他

(1) 学費について

入 学 金	50,000円	
授 業 料	24,500円/月	※1
教育充実費	5,000円/月	
施設設備費	6,000円/月	
積 立 金	20,000円/年	※2
育 友 会 費	1,200円/年	
授業目的公衆送信補償金	210円/年	
日本スポーツ振興センター負担金	220円/年	
その他	実 費	
(防災セット代、教科書代、教科書郵送代、実習を伴う科目の材料費、各種証明書発行費等)		

※1 就学支援金対象のご家庭については、授業料引き落とし時に、就学支援金を差し引いた金額で引き落としを行います。ただし、就学支援金加算区分決定のタイミングによっては、あらかじめ授業料を満額引き落とし、差額が発生した場合は、授業料納入後の年度内に就学支援金を還付します。

※2 校外学習、卒業準備金、研修旅行の一部等に充当します。残金については、卒業時に、振込手数料を差し引いた金額で返金します。

*毎年3月の授業料納入時(4～6月分)に合わせて納入していただきます。

ア 入学年度初回(3月)の授業料等の納入につきましては、指定された期日までに、指定された口座に振込をお願いします。振込手数料は各家庭でご負担ください。

イ 2回目以降の授業料等に関しましては、3か月ごと(3・6・9・12月の25日)にご指定の口座から自動引き落としになります。引き落とし手数料は各家庭のご負担になります。引き落とし日前日までにお届け口座の残高のご確認をお願いします。

ウ 積立金以外の納入された学費については返金しかねますので、ご了承ください。

(2) 生徒証について

生徒証は、緑誠蘭高等学校の生徒であることを証明する身分証明書でもあります。紛失すると悪用される可能性があります。無くさないように十分注意しましょう。

ア 有効期限

生徒証の有効期限は、入学年度から4年間とします。但し、有効期限内に卒業する場合は卒業時に無効印を押します。4年間以上在籍する場合には再発行が必要になります。

イ 再発行

以下の場合には、生徒証の再発行手続きが必要になります。再発行料：500円。

- (ア) 紛失、盗難、破損した場合
- (イ) 氏名、住所等に変更があった場合
- (ウ) 有効期限が過ぎた場合
- (エ) 他校舎への在籍変更をする場合

ウ 生徒証の返納

以下の場合には、すみやかに生徒証の返納をしてください。

- (ア) 除籍、退学、他校への転入学などにより本校生徒の身分を離れた場合
- (イ) 生徒証の再発行後に旧生徒証が見つかった場合

(3) 健康診断について

毎年6月末までに医療機関で健康診断を受診し、健康診断書を所属校に提出してください。年度初めに配布される資料に検査項目が記載されていますので、すべての検査項目を受診するようにしてください。

その際の受診料は自己負担となります。

(4) 電車・バスの定期券、回数券の購入について

通学証明書または生徒旅客運賃割引証を駅窓口を持参し、個人で購入してください。通学証明書と生徒旅客運賃割引証は、交付願を事前に所属校に提出することで発行されます。

※発行までに時間を要するため、余裕をもって交付願を提出してください。

※JRの定期券は、初回購入時のみ通学証明書を窓口提出して購入しますが、以後、在学期間中は券売機で購入できます。したがって、卒業・退学・転出学・除籍で本校生徒ではなくなった場合、既存の定期券を使用したり、新規購入をしたりすると、不正乗車となり処罰されますので、絶対にないようにしてください。

(5) 日本スポーツ振興センター災害共済給付について

学校の管理下で起きたけがなどに対して医療費等の給付を行っている日本スポーツ振興センター災害共済給付制度に加入していただきます。

ア 学校の管理下とは

- (ア) 授業中・・・各教科、校外学習、研修旅行、大掃除、学校行事
- (イ) 学校の教育計画に基づく課外指導中・・・部活動、キャンプ実習、各校特活
- (ウ) 休憩時間や学校の定めた特定時間中・・・始業前、業間休み、昼休み、放課後
- (エ) 通常の経路及び方法による通学中・・・登下校、校外学習等の現地集合を含む
- (オ) その他・・・集中スクーリングや校外学習時の寄宿中

イ 生徒1名につき 年額220円

※ 毎年3月の授業料納入時(4～6月分)に合わせて納入していただきます。

ウ 給付金の支払い請求方法

学校で手続きを行いますので、受診明細等を申告してください。

エ 注意事項

(ア) 健康保険が適用される受診が対象

(イ) 受診した月から2年間請求を行わなかった場合、給付が受けられなくなります。

(6) 緑誠蘭高等学校「育友会」について

生徒の特別活動や学校行事の推進・援助、有事における損失した生徒の学校関連財産の保証など、生徒の学校生活を円滑に送ることを目的とした「緑誠蘭高等学校育友会」に入会していただきます。

ア 育友会の主な事業

- ・ 生徒の特別活動ならびに学校行事などの推進・援助に関わる事項
- ・ 会員相互の親睦に関わる事項
- ・ 生徒の卒業記念品に関わる事項
- ・ 有事時、損失した生徒所有の学校関連財産の保証に関わる事項
- ・ 会員の弔事時における弔慰金に関わる事項など

イ 育友会費 生徒1名につき 年額1,200円

※ 毎年3月の授業料納入時(4～6月分)に合わせて納入していただきます。

ウ 育友会会則については、別途定めます。

(7) 授業目的公衆送信補償金について

教育目的の著作権に関する、遠隔授業等における授業目的の公衆送信についての補償金を負担していただきます。

ア 取り扱い団体 一般社団法人 授業目的公衆送信補償金等管理協会

イ 授業目的公衆送信補償金 生徒1名につき 年額210円

※ 毎年3月の授業料納入時(4～6月分)に合わせて納入していただきます。

(8) カウンセリングについて

スクールカウンセラーによるカウンセリングを受けることができます。各所属校によってスケジュールリングされていますので、カウンセリングを希望する場合には、各校担任まで申し出てください。

(9) サテライト塩尻校について

2027年度(令和9年度)をもちまして、サテライト塩尻校は廃校となりますので、2026年度以降の生徒募集は、以下の条件にご了解いただける生徒のみと入学可能です。サテライト塩尻校の生徒は2027年度までに卒業を目指しますが、2028年度以降も在籍する生徒は、所属を蘭本校に移し、在宅型学習(集中スクーリングは蘭本校)で卒業を目指します。



あらいぎ
蘭本校

〒399-5302 長野県木曾郡南木曾町吾妻 3859-39
Tel 0264-24-0477 Fax 0264-24-0478
Mail rsr.honkou@cfc.ac.jp

JR 塩尻駅から徒歩約 5 分



サテライト 塩尻校

〒399-0736 長野県塩尻市大門一番町 6-13
Tel 0263-31-5490 Fax 0263-31-5491
Mail rsr.shiojiri@cfc.ac.jp

JR 中津川駅から徒歩約 3 分



サテライト 中津川校

〒508-0038 岐阜県中津川市新町 1-16 中央ビル 1F
Tel 0573-67-7750 Fax 0573-67-7751
Mail rsr.nakatsugawa@cfc.ac.jp

名鉄知立駅から徒歩約 1 分



サテライト 知立校

〒472-0025 愛知県知立市池端 2-3
Tel 0566-84-2150 Fax 0566-45-5170
Mail rsr.chiryu@cfc.ac.jp

学校法人 山本学園
広域通信制・単位制課程普通科高等学校

りょくせいらん
緑誠蘭高等学校



学校 HP



学校ブログ